



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

yamaguchi Japanese Red Cross Society

赤十字やまぐち

2015
Spring
春号

発行／日本赤十字社山口県支部 〒753-0094 山口県山口市野田 172-5 TEL.083-922-0102 <http://www.yamaguchi.jrc.or.jp>



災害に備え、いのちと健康・尊厳を守ります

平成26年度日本赤十字社中国・四国各県支部合同災害救護訓練(26.11.8)

赤十字への支援のお願い



日本赤十字社
山口県支部長
村岡 嗣政

日本赤十字社の事業活動は、日赤病院や血液センターで行うものを除き、県民の皆様からお寄せいただく活動資金(社費・寄付金)によって成り立っています。日赤山口県支部では、この資金により災害時の医療救護活動や救援物資の配布、子どもたちに思いやりの心・生きる力を育む青少年赤十字活動、いのちを救う救急法等の講習普及事業、地域で様々なボランティア活動を行う各種奉仕団の育成など、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動を続けています。

ところが、この3年間、活動資金は大きく減少しています。南海トラフ大規模地震発生の懸念や災害の大規模化・頻発化の傾向がある中で、日本赤十字社としては、これまでの災害直後の応急対応のみならず、防災・減災のための活動の推進や災害の復旧・復興期における活動の検討など、あらゆる災害に対応できる組織へと変わろうとしています。

県民の皆様には、「災害からいのちを守る日本赤十字社」の事業活動にご理解をいただき、本年度の活動資金へのご支援ご協力をいただきますようよろしくお願いします。

日赤山口県支部では、皆さまのご支援ご協力

平成27年度予算

歳入

・社資収入……………	200,000千円
・繰入金収入……………	25,800千円
・貸付金償還金収入……………	40,000千円
・雑収入……………	8,200千円
・前年度繰越金……………	17,000千円

歳出

・災害救護活動に	50,392千円	17.3%
・赤十字思想の普及と社員の増強に	40,526千円	13.9%
・償還金の支出に	40,000千円	13.7%
・救急法等の普及、ボランティア・青少年赤十字活動に	38,758千円	13.3%
・市町の赤十字活動に	38,600千円	13.3%
・国際活動、赤十字の全国事業に	30,594千円	10.5%
・社会福祉・医療・血液事業推進に	9,833千円	3.3%
・支部事業の運営に	40,297千円	13.8%

合計： 291,000千円

合計： 291,000千円 (ほかに、予備費2,000千円計上)

※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計になっており、この予算には含まれていません。

災害から被災者を救う(災害救護活動)

災害時に医療救護支援や救援物資の配布などを行うため、平時から医師、看護師などによる救護班を編成し訓練・研修や救援物資の備蓄、救護活動に必要な資材の整備をしています。また、災害への備えとして防災の知識等を広めるため、防災、減災活動にも取り組んでいます。



平成26年8月「岩国市・和木町大雨災害」では、被災された方々へ毛布などの救援物資を配布したほか、赤十字防災ボランティアが岩国市・和木町災害ボランティアセンターの運営を支援しました。



平成26年8月「広島県広島市大雨災害」では、広島市安佐北区の避難所に医療救護班を派遣し、巡回診療や健康調査を実施しました。

いのちと健康を守る

「いのちを救いたい」という思いを行動にできていると思います。毎年1万人を超える方々が受講されています。



いざという時の心肺蘇生や
応急手当を学ぶ「救急法」

「いのちを救いたい」の思いを集めて
第2回赤十字救急法競技大会を開催



一人でも多くの被災者を救うために

「平成26年度日本赤十字社中国・四国各県支部合同災害救護訓練」実施

昨年11月8日、山口市阿知須のきら博記念公園で今後の大規模災害への備えと、医師・看護師などの救護員の知識・技術の向上を図ることを目的に、日本赤十字社中国四国各県支部と各防災機関が合同で災害救護訓練を実施しました。



未来を担う「赤十字人」を育む(赤十字思想の普及)

広報活動を積極的に行い、赤十字への理解と協力をお願いしています。赤十字パネル展は、平成26年度は県内の41会場で、通算592回開催しました。あなたの街でも、もっと知って、赤十字！



青空天国いこいの広場(5/5)に出展。パネルを見ながら問題を解いてもらい、参加記念品として赤十字グッズをお渡ししました。



その他、知って役



乳幼児の事故に対する
手当等が学べる「幼児安全法」



水の事故からい
「水上安

により“いのちと健康・尊厳”を守ります。



平成26年度 第2回評議員会

2月16日、山口市で開催された平成26年度第2回評議員会において、平成26年度の事業報告、平成27年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出予算について審議され、承認されました。開会前には青少年赤十字防災教育のためのDVD“まもるいのちひろめるぼうさい”を視聴していただきました。



6 (救急法等の普及)

るように、「救急法」などの各種講習を県内で普及しています。

平成27年度 救急員養成講習のご案内

直ちに手当が必要な人に対し、医師や救急隊に引き継ぐまでの間、迅速に救命手当や応急手当を行うための知識・技術が3日間のコースで習得できます。

日 時	会 場
平成27年7月18日(土)～20日(祝)	岩国市役所
平成27年7月24日(金)～26日(日)	宇部市総合福祉会館
平成27年8月 7日(金)～ 9日(日)	山口市サンフレッシュ山口
平成27年8月21日(金)～23日(日)	周南市学び・交流プラザ

※全日程共に開催時間は「9時～17時」です。

昨年12月14日、心臓マッサージ・人工呼吸・AEDを用いた除細動を行う「心肺蘇生の部」、三角巾を使用して、ケガの手当をする「応急手当の部」の2部門で、迅速かつ正確な知識・技術を競う、第2回「赤十字救急法競技大会」を開催しました。

会場は選手の熱気と応援の歓声に包まれ、大変盛り上がる大会となりました。

第3回大会開催決定!!

今年度は9月13日(日)に新南陽ふれあいセンターで開催予定です。どなたでも出場できますので、ご応募お待ちしております。

立つ赤十字講習



いのちを守る
全法」



高齢者の自立を支援できる
「健康生活支援講習」

地域での活動(ボランティア)

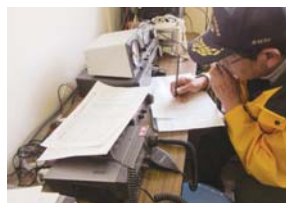
災害時に備えた非常食の炊き出し等の普及活動を行ったり、アマチュア無線等の特殊技能を活かして活動しています。

山口県赤十字防災奉仕団



災害時の救護活動の支援等が適切に実施できるよう訓練や、防災の知識・技術の普及をしています。

山口県赤十字アマチュア無線奉仕団



災害時の通信確保のため無線通信訓練等を行っています。

地域奉仕団



地域の防災・減災力の向上のため、炊き出し等の訓練を行っています。

山口県青年(学生)赤十字奉仕団



義援金の呼び掛け・献血・被災地へのボランティア活動等を行っています。

気づき・考え・実行する(青少年赤十字)

青少年赤十字は、幼稚園、保育所、小・中・高等学校、特別支援学校等において、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を目標テーマとするプログラムを、メンバーである児童・生徒が自主的に「気づき・考え・実行する」ための取り組みを行っています。

「リーダーシップ・トレーニング・センター」▶の終了後は、学校や地域でのリーダーに!



青少年赤十字国際交流を実施

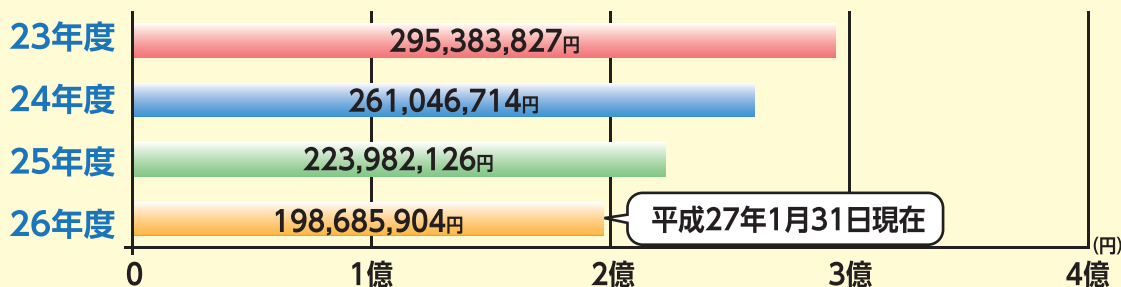
日本赤十字社が行う青少年赤十字国際交流事業は、隔年で実施され、昨年度はアジア・大洋州の22の国と地域から44人の青少年赤十字・赤新月メンバーと、日本全国からの高校生約90人のメンバーが集い、地域が直面する災害、紛争、貧困、衛生、教育などのさまざまな問題について意見交換して理解を深めました。



平成26年度は、ラオス人民民主共和国から2名の高校生が来県し、県内のJRCメンバーと交流しました。

◎山口県の赤十字活動が「赤」信号!! 社資が年々減少しています

赤十字活動資金の推移



赤十字活動にはあなたのサポートが必要です。



なぜ日赤に活動資金を拠出するのですか？

日赤は、世界の189の国と地域にある国際赤十字の一員です。人種や宗教、政治的な対立等がある中で人道的事業を展開していくためには、中立や公平を守る必要があり、国や地方公共団体からの補助金は受け取っていません。

皆様方一人ひとりから寄せられる善意の「活動資金」が赤十字活動の拠りどころとなっています。

赤十字「活動資金」

活動資金は社資と呼ばれ、「社費」と「寄付金」の2種類があります。「社費」は、社員から年額500円以上で納入される資金、「寄付金」は、どなたでもいくらからでもご協力いただけます。

赤十字社員

赤十字の人道的な活動に賛同し、毎年500円以上の資金協力をしていただく方のことです。個人・法人を問わず、どなたでも社員になることができます。

◎活動資金に協力したい! そんな時には…

町内会・自治会等の方々や赤十字ボランティアを通じた納入のほか以下の方法でご協力いただけます。

- ①郵便局からの振込みでの納入…お近くの郵便局からお振込みいただけます
【口座番号】01590-3-4076 【加入者名】日本赤十字社山口県支部
※上記口座番号は社資専用口座です。お間違のないようよろしくお願いいたします。
- ②口座振替による納入…預金口座振替(自動引き落とし)により毎年継続して社資を納入していただけます
- ③インターネットでの納入…インターネットで簡単に社資を納入していただけます
- ④コンビニエンスストアの情報端末から(ファミリーマート、ローソン)
- ⑤市町や赤十字病院、血液センター等お近くの赤十字窓口での納入
- ⑥慶弔金のお返し
- ⑦遺贈による寄付(本年1月から相続税が一部増税になりました)

※②、③は一回2,000円以上からご協力いただけます。

詳細は、日赤山口県支部ホームページ(<http://www.yamaguchi.jrc.or.jp>)をご覧ください。

※日赤にお寄せいただいた社費・寄付金には税制上の優遇措置があります。



高額寄付者のご紹介

日本赤十字社の活動資金にご協力いただいた方をご紹介します
平成 26 年 8 月 1 日から平成 27 年 1 月 31 日までの当支部受付分から

10 万円以上

竜王薬局様（山陽小野田市）
株式会社西日本テクノ様（下関市）
他 6 名

50 万円以上

1 名

東日本大震災義援金

平成 23 年 3 月 15 日～平成 27 年 2 月 10 日まで
山口県支部での

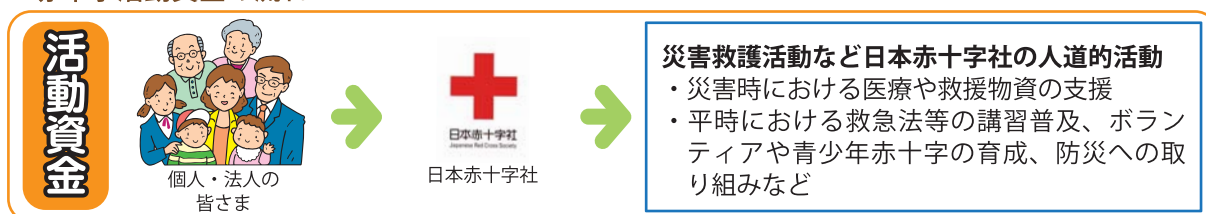
受付件数…………… 2,084 件
義援金額…………… 14 億 1,375 万 1,136 円

平成 26 年 NHK 海外たすけあい

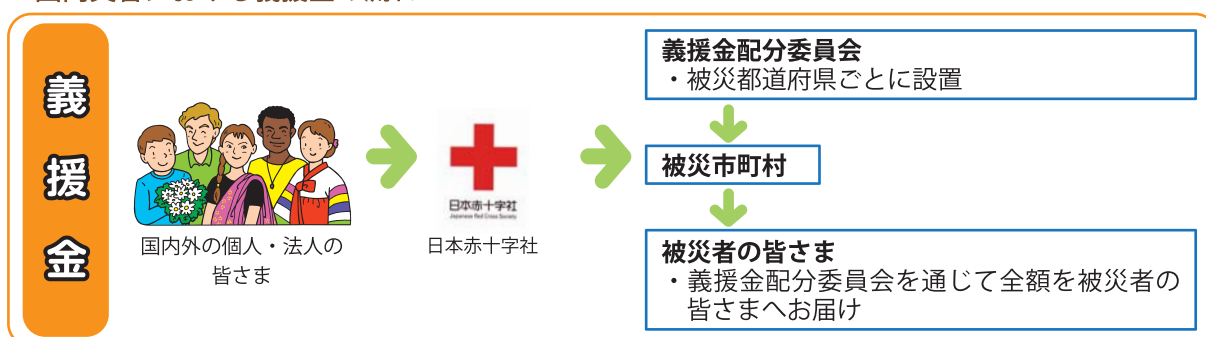
平成 26 年 12 月 1 日～平成 26 年 12 月 25 日まで
山口県支部での

受付件数…………… 132 件
義援金額…………… 143 万 3,967 円
ご協力ありがとうございました。

赤十字活動資金の流れ



国内災害における義援金の流れ



海外義援金の流れ



活動資金以外でも赤十字を支援したい！そんな時には…

赤十字の活動には多くの「ボランティア」の皆さんの力が必要です。
次のようなボランティアに、あなたもぜひ参加してみませんか。

- ①救急法や防災の講習に参加し、指導員になって知識技術を普及する
 - ②社資の募集を行う（募金箱や赤十字支援自動販売機の設置などもあります）
 - ③防災・減災のための知識技術やアマチュア無線などの技能で、災害時などに活動をする
 - ④子どもたちへ赤十字を伝える（赤十字紙芝居上演など）
 - ⑤地域で赤十字の心を伝える（パネル展の開催など）
 - ⑥献血をする、献血を呼びかける
 - ⑦病院ボランティア（受付の補助やピアノ演奏など）
- その他、「あなた」ができること、得意なこと、持っている力を赤十字にお貸しください。



本紙に関するお問い合わせは

山口県内の赤十字施設は今

総合病院山口赤十字病院

総合病院山口赤十字病院

『当院の栄養サポートチーム（NST）をご紹介します』

医師・看護師・薬剤師・管理栄養士によるNSTは、嚥下障害、経管栄養、褥瘡、術前術後などの症状に一番適した、腸を使う栄養摂取を提案しています。腸を使って生理的に栄養を取り入れると、効率よく栄養改善ができます。

食事が食べにくく量も取れない場合は、担当の管理栄養士が食べやすいよう食事内容の変更を行っていますが、栄養不良の状態にあって、経口で十分な栄養確保が難しい場合は、より専門的な視点から対策を検討する必要があります。NSTチームは、最良の栄養改善計画を提案するため、毎週、院内を巡回しています。口から思うように食事が進まないなど、栄養摂取に不安があればNSTにご相談ください。

（診療科目） 内科、消化器科、循環器内科、神経内科、精神科、小児科、外科、乳線外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、気管食道科、放射線科、リハビリテーション科、歯科・口腔外科、麻酔科、（緩和ケア科）
（病床） 病床数475床



〒753-8519
山口県山口市八幡馬場 53 番地の 1
TEL. 083-923-0111 FAX. 083-925-1474
<http://www.yamaguchi-redcross.jp/>

小野田赤十字病院



〒756-0889
山口県山陽小野田市大字小野田 3700 番地
TEL. 0836-88-0221 FAX. 0836-88-2733
<http://www.onoda-redcross-hosp.jp/>

（診療科目）
内科、消化器内科、循環器内科、神経科、外科、整形外科、肛門科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科
（病床） 一般病床40床、療養病床92床
（老人保健施設） 入所定員100名

小野田赤十字病院 『開設！地域包括ケア病床』

小野田赤十字病院は、山陽小野田市の南部地域に立地しています。一般病床40床、療養病床92床に加え、老人保健施設100床も運営しており、高齢者医療等を支える地域密着型の病院です。

昨年11月1日に、一般病棟（1病棟）40床のうち、10床を地域包括ケア病床として新設しました。地域包括ケア病床は、これからの高齢化社会に向けて国が新たに導入した制度で、急性期治療を終了し、すぐに在宅にもどるには不安がある患者さんに対し、在宅復帰に向けて回復期の診療や看護・リハビリを行います。

当院では新たな病床や医療を通じ、今後も皆さまが住み慣れた地域で自立した暮らしを続けられるよう、お手伝いさせていただきます。

山口県赤十字血液センター
総合病院山口赤十字病院



小野田赤十字病院



山口県赤十字血液センター

『献血手順が変わりました！』

平成26年6月、全国の血液センターで一斉に新しい献血受付システムを導入いたしました。それに伴い、献血申込手順などが一部変更になりました。

システム導入後は、献血申込書・問診票が廃止となり、献血に必要な情報をICカードに記録するようになりました。それにより、他の人に個人の情報を見られる心配がなくなりました。問診もタッチパネル式タブレット端末を使用して回答し、ICカードに記録します。

また、生体（静脈）認証の導入で本人確認がより早く簡単にできるようになりました。

みなさんが安心して献血にご参加できるよう、これからも「献血しやすい環境づくり」に努めてまいります。

山口県赤十字血液センター



〒753-8534
山口県山口市野田 172-5
TEL. 083-922-6866 FAX. 083-922-7073
フリーダイヤル 0120-456-122
<http://www.yamaguchi.bc.jrc.or.jp/>